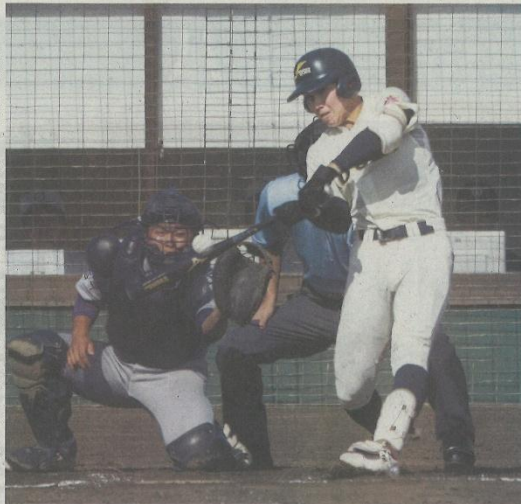


【決勝】花巻東「八学光星」1回八学光星が死一、二塁、小林凱翔が中前通時打を放ち、1点を先制する



【花巻東】池田中前通時打で先制。花巻東は、小林凱翔が中前通時打を放ち、1点を先制する。

【八学光星】池田中前通時打で先制。花巻東は、小林凱翔が中前通時打を放ち、1点を先制する。

【八学光星】池田中前通時打で先制。花巻東は、小林凱翔が中前通時打を放ち、1点を先制する。

小林先制打、唯一の打点

青森県大会でベンチ入りをした小林凱翔が初回に先制通時打。これが八学光星唯一の打点となった。県大会後の練習試合などで持ち味の打撃を猛アビールし、1桁の背番号をつかんだ小林、好機を迎えた第1打席は、追い込まれてからの浮いた変化球をしどく中前に運んだ。「何としても点を取って、ピッチャーを楽にさせたい」とこの日の八学光星は散発6安打。打線がつかずならず競り負けた。

小林が悔やんだのは九回の打席。1死満塁の好機で、花巻東2番手の好投手左腕が投じた外の直球に手が出ず、見逃しの三振に倒れた。「最後の大きなチャンスで打たなくて負けてしまった」と肩を落とした。東北の頂点は逃したが、来春はセンバツ出場が有力だ。「もっと低めの変化球の見極めや、コースに逆らわないバッティングを心がけていきたい」といふ。春までにレベルアップしたいと底上げを書いた。（千葉達也）

秋季高校野球 東北地区大会

第78回秋季東北地区高校野球大会は17日、岩手県の花巻球場で決勝を行い、7年ぶり6度目の優勝を狙った八学光星（青森第1代表）は花巻東（岩手第1代表）に2-3で惜敗し、準優勝となった。

決勝で敗れたものの、八学光星は、来春の選抜大会（センバツ）出場が有力となっている。東北地区に与えられた出場校の一般枠は3。4年ぶりの頂点に立った花巻東は、東北地区代表として明治神宮大会（11月14～19日）に出場する。各地区大会を制した10校が、秋の高校日本一を懸けて戦う。（千葉達也、大西桂介）

決勝

花巻東 000 300 000 | 3
八学光星 100 000 001 | 2

（花）赤間、萬谷一勝
（ハ）及川、秋元、大西、北口一鈴木
一塁打 萬谷2、古城（花）安井（ハ）
二塁打 萬谷（花）北口（ハ）
三塁打 萬谷（花）北口（ハ）
本塁打 萬谷（花）北口（ハ）

△試合時間＝2時間55分
（球審＝近藤、塁審＝小西、三浦、吉永）
【評】八学光星は初回、内野安打と犠打、申告故意四球で2死一、二塁とし、小林の中前打で先制。しかし、先発及川が四回に5安打を浴びて一挙3点を奪われ逆転を許した。打線はあと一本が出ず、九回の暴投で1点を返すにとどまった。花巻東は三回途中から代わった主戦萬谷が、光星打線を散発4安打に抑えた。

光星惜敗 準優勝

拙攻甘い球を捉えられず



【決勝・花巻東ー八学光星】5回八学光星1死一、二塁、北口晃大（手前左）が投ゴロで併殺に倒れるー花巻球場

八学光星は、三回途中からマウンドに上がった花巻東主戦の萬谷一勝に散発4安打を抑えられ、11残塁。仲井宗基監督は「一番で甘い球を捉えられなかった。淡々と振り返った。初回に小林凱翔の中前打で幸先よく先制した光星打線。三回も四球と犠打で好機をつくったが、ここで継投した主戦左腕が打ちあぐねた。左打者から逃げる軌道の直球とスライダーに苦しめられ、ボール球に手を出して凡退。直後の四回に逆転を許す。試合の流れは一気に花巻東に傾いた。

焦点

反響に振った光星は五回、敵失と安打で1死一、二塁とし、4番の北口晃大に「直球もスライダーも良かった。悩みながら打った感じ。北口は迷いのあるスイングで投ゴロ、併殺と乗り遅れを口にした。敗れたが、収穫もある。東北大会だった。打線が振るわずに苦戦した県大会からメンバーを入れ替え、初戦から準決勝までは「打の光星」復活を印象付ける試合内容だった。センバツを見据え「北口以外にも計算

ができる投手を投げさせた」という仲井監督。3失点を喫した及川琉汰にはチームを勝たせるピッチングを」と注文を付けたが、秋元尊大西亮堂の中継ぎ陣については「ベンチもあったが、無失点に抑えた。十分通用する」と手応えを口にした。「もう一回チーム内で競争し、課題をクリアしたい。自分も投打でチームの勝利に貢献できるようにしたい。主将、エース、4番の重責を担う北口は、さらなる飛躍を誓った。（大西桂介）